

文部科学大臣優秀教職員表彰ニュース

令和3年2月発行 京都市教育委員会 教職員人事課

文部科学省では、平成18年度から学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げている全国の教職員を表彰し、意欲及び資質能力の向上に資することを目的に「優秀教職員表彰」が行われており、第15回目となる今年度は全国から790名、54団体の優秀な教職員が表彰され、本市からは、**7名（小3名・中2名・高1名・事務職員1名）及び1団体が受賞しました。**

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンラインで表彰式典が執り行われ、受賞者は今後の教育実践等への意欲をさらに高めました。

受賞者の皆様



御所東小学校
藤川 幸子 教諭



醍醐西小学校
畑中 崇伸 教諭



向島秀蓮小中学校
野崎 敦 教諭



西院中学校
赤井 範子 教諭



勸修中学校
東谷 祐子 教諭



塔南高等学校
中村和夫主幹教諭



樫原中学校
木下 珠紀 事務職員



左から順に
加藤 真也 教諭
(伏見中学校)
現・洛南中教頭
野田 憲一 教諭
(伏見板橋小学校)
本田 拓平 教諭
(伏見住吉小学校)
山川 五樹 教諭
(下鳥羽小学校)

伏見中学校校区 校種間連携プロジェクト
(伏見中学校・伏見板橋小学校・伏見住吉小学校・下鳥羽小学校)



「文部科学大臣優秀教職員表彰」の御受賞、誠にありがとうございます。受賞されました7名と1団体の皆様が、子どもたちのために、それぞれの専門分野において、尊い教育実践を積み重ねられていることに心から敬意と感謝の意を表します。この度の御受賞は、皆様が一人一人の子どもたちと懸命に向き合い、複雑化する教育課題に対して全力で取り組んでこられた成果が結実したものであります。

グローバル化や先端技術の高度化が加速的に進み、将来予測が困難な時代を迎える中、多様な価値観を認め協働する未来社会の創り手の育成に向け、受賞者の皆様はもとより、各学校・園で御尽力いただいている教職員の皆様が、今後ますます御活躍されますことを御期待申し上げます。

京都市教育長 在田 正秀